

やなかわ

YANAGAWA 2014.

no.214

2月15日

今号の内容

- ◆外部評価委員会が市の仕事を評価・提言 2
- ◆うまかもんつくりぐっちょ完成発表会ほか 3
- ◆市民のひろば(4-5) ◆俳句(5) ◆情報わいど(6-9) ◆がんばったね(10) ◆もちふみデビュー(11) ◆人権・同和教育シリーズ(12)



詩聖北原白秋の 生誕祝いパレード

柳川が生んだ詩聖、北原白秋の誕生日である1月25日、白秋詩碑苑で白秋生誕祭が催されました。柳川白秋会の会員や白秋の母校、矢留小学校の児童らが、北原白秋生家・記念館から遺影を載せた大八車を引ながら同苑まで行進。式典では、詩碑に献花や献酒などが行われ、参加者全員で「帰去来」を合唱して偉大な詩人の129回目の誕生日を祝いました。

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

皿垣小に来て 学んだこと



皿垣小学校5年
まつふじ 史奈 さん

みんなが、「どこから来たの。」「前の小学校は、何小学校だったの。」「と優しく話しかけてくれたので少しづつ緊張がほぐれていきました。

また、休み時間にみんなと遊んだことで、「仲良しになれるかな。」と心配していたことがふき飛んでいきました。みんなは、私の知らないことをなんでも教えてくれ、一緒に遊んでくれました。そして、私が一人ぼっちでいると、「史奈さん一緒に遊ぼう。」と優しく声をかけてくれたのです。それに対して私は、うれしくなりました。

「うん、遊ぼう。」と言いました。こうして少しずつ打ち解けていくことができました。

学級には、そうじを頑張る人や運動が得意な人、生き物をとっても大切に人などいろいろな友達がいきました。

このように5年生になり、一人一人の個性の違いも分かってきました。一人一人のよさを感じることもできました。また、そういう一人一人の違いが大切だし、困ったときは、お互いに声をかけ助け合おうと、一人ではできないことでもできるということも分かりました。

私はこれからも、友達とのきずなを大切にしていきたいと思えます。そして、自分がしてもらったように、もし、友達が困っていたら、助けてあげたいです。

私は、このように、この皿垣小学校で一人一人の個性を大切にすることや、人と人とのきずなを深めることの大切さを学べたと思います。感謝しています。



【評】転校してきたときは、不安や緊張でいっぱいだったでしょうね。

新しい友達と仲良くなることで、個性の違いを認めることや友達と絆を深めることを学ぶことができたね。史奈さんが学習したことを、ぜひ小学校全体にも広げていってください。